

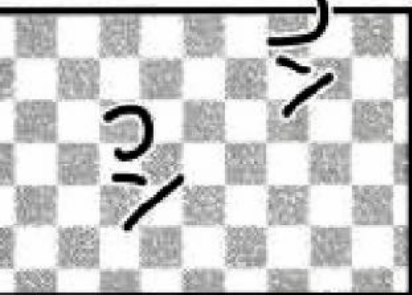
その時、  
天使が  
舞い降りた



それは少し強く  
雨が降る夜だった



よく降るなあ



ん?



んん?

んん?

んん?

んん?



翼!



あの頃の  
小さな天使が



舞い降りた。

再び俺の前に



こんなに濡れて  
俺のところ  
来たのかい

ホットミルク  
あったまるよ

ほら  
とんき

……おんき  
おんき……

大変だったね

雨で羽が濡れて  
飛べなくなつたのかな

こく

兄が先に  
行ってしまったので  
僕も慌てて  
ついてったけど

途中で道に  
迷ってしまったって

いつも  
そんなんです

?



いつも兄は僕の前を  
飛い速さで  
飛んで行って  
しまふので僕は  
置いてかれてばかり  
いるんです

僕がどれだけ  
頑張っても  
全然追いつかない

兄は……  
いつも自由に  
飛び回ってばかりで

一度も僕の方に  
振り向いて  
くれないんです

ほんとは

ホントは僕は  
手をつないで  
飛びたいのに

淋しかったんだね



あなたは一  
人でいるの  
淋しくないの？

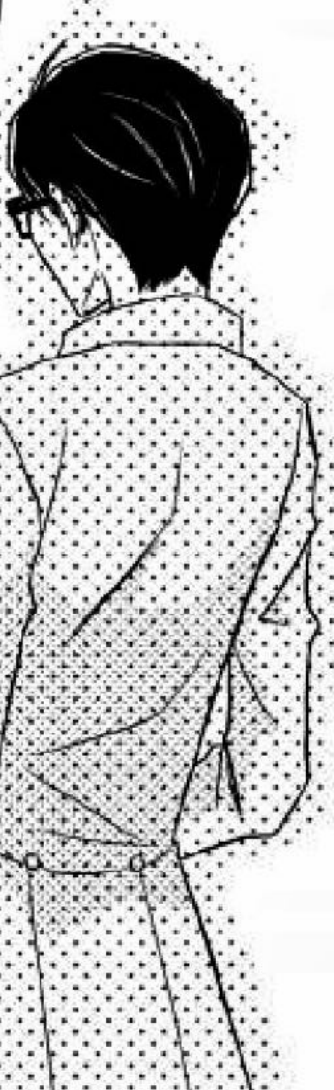


だっ  
て一  
人  
は  
淋  
し  
い  
か  
ら  
み  
ん  
な  
に  
し  
ょ  
う  
？

一  
人  
は  
平  
気  
？



でもきつと  
あなたを  
待ってる人  
は  
いるんだ



手をつないで  
ほしいのに  
淋しいって心の中  
で  
云ってる人が  
いるかも

君が平気でも  
僕が平気とは  
限らないよ





兄さんに  
早く会いたい

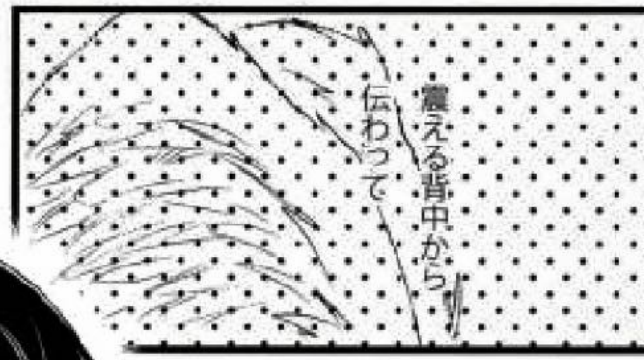
会いたい

...

おれが



小さい翼は  
羽が濡れて重くなり  
羽はたかせることもできず



震える背中から  
伝わって

翼が小さく  
震えている

NIJISEN

君のお兄さんは

翼

はい

ここに会わせたい  
人がいるつて  
云つてました

本当はここにもう一人  
連れてくる筈だったか  
んですが僕は誰なのか  
知らないのです

華桜館

あ

キイ



ごめんなー！

は？



鳳…



兄さん！



翼！  
大丈夫？  
ケガはしてない？



わーん！  
兄さん！！



してません  
兄さん大丈夫  
なんですか？

なんだか  
シユールだねえ



何ですかコレ  
どういう事  
ですか？



俺は大丈夫だよ  
翼も無事で  
良かったね

心配して  
途中で見  
失つて

翼は  
どうしたの

かみいかにどごかは  
座係になります。

拾ったわけじゃ  
ないですよ  
窓の外にいた  
で入れてあげただけ  
です…

あの俺に似た  
可愛い子は  
どこで拾ったの

きっとあいつも  
俺を捜しながら  
濡れて凍えている

いつもそうなんだ  
気がつけば俺は  
あいつに淋しい  
思いばかりして…  
さっさとしまつて…

そんなつもりは  
全然ないのに

弟を傷つけて  
ばかりいるんだ

一番大切に  
大好きなのに

弟を置いてきて  
しまったのです

自分もずぶ濡れに  
なっているのに



一緒に帰ろうね  
つばさ



は  
は

俺たちは  
帰ります



というわけで  
色々迷惑を  
おかけしました



あなたに会いたくて  
淋しがつてる人が  
僕たちは  
互いに会わせて  
あげたかっただけ  
です



それはもう  
終わりました



ちょっと待った

君たち  
何かする  
こと  
ないの？

それじゃあ  
またね

えっ  
えっ？  
！

会いたかった  
でしよう？

ちょ…それは  
どういう…  
何を云って…！

抱きしめたい  
思ってたでしよう？

会いたくて  
大好きなのに  
本当のことが  
云えなくて

でも淋しいって  
ですしょう？







俺に  
会いたかった？

俺に触れられ  
たかった？

そんなこと  
云わなくても  
君は来ると  
思ってた



そうでしょう？  
樹兄さん



会いたいと思えば  
君の方から来て  
くれると思ってた

今までも  
多分、これからも

少年くとも  
僕は

俺の弟



さすが

俺も会いたいと思つてた

その時、天使は 舞い降りた。



DEVILDINER  
STAR.MYU  
OTORIXHIRAGI  
UNOFFICIALBOOK

